

R5年度 経営強化に向けた取組み

R5. 8. 25 西伯病院

○モニター会議 (R5.2.1 第1回開催)

- ・ 7つの地域振興協議会から選出されたかたをモニターとして、定期的に西伯病院の運営や患者サービス向上に関する意見、要望等を町民目線で幅広く聞く会を設置。第2回を秋頃予定。
(第1回おもな意見:受診の際の敷居が高く感じる。西伯病院に住民が足を運ぶ仕組みをもっと考えないといけない等)

○健診数増加に向けた企業訪問 (R5.3.22)

- ・ 新型コロナウイルスで一時中断していた生活習慣病予防健診、ドックの再開に伴い、企業訪問を実施。
(緑水園、祥福園、シルバー人材センター、社会福祉協議会、中小家畜試験場、TVC株式会社)※第2弾も実施予定

○精神病棟入院基本料の見直し (R5.5.1届出)

- ・ 4階の精神病棟入院基本料(15:1)を(13:1)に見直し (人件費の増なし)
(差額128点、入院患者平均40人とすると年間約1868万円の増収効果)

○小児科のウェブ予約開始 (R5.4.1)

- ・ 当日の診察の時間予約(急な体調不良)、定期受診の予約、予防接種の予約をウェブ予約でき、患者の利便性が向上した。また電話予約に手を取られ、外来患者の対応や、医師、看護師間の連携が不十分であったが解消された。

○入院セット導入 (R5.5.15)

- ・ 病衣、タオル、おむつ等、入院生活に必要な日用品を日額で利用できるサービスを導入し患者満足度を向上。ご家族の負担軽減のみならず、院内の感染防止、業務効率化を推進。

○出前講座の実施 (R5.4.26)

- ・ 医師、看護師、リハビリ専門職等が、地域に出向き、病気や健康の講話をし、町民の健康増進を支援。
(R5.6.24 長谷川院長「薬の上手な飲み方」 天津地区 他)

○医療機器の保守費用の適正化

- ・ フルメンテナンスから点検保守プランに切替え(有償修理に備え補償サービスに加入)コスト削減を目指す。
- ・ 現在、検討しやすい医療機器2種を選定し、メーカーに照会中

○アドバイザーを活用した診療報酬の適正化 (R5.6.14～ 全5回(第1回、2回、3回終了))

- ・ 現在、診療報酬の適正化を図るため、総務省の事業「令和5年度 地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」を活用し、アドバイザーの派遣を受けている。
 - ・3A病棟:地域包括ケア入院管理料の病室を増やしてはどうか。
 - ・4階病棟:精神科急性期治療病棟への転換を検討してはどうか 等、多くのアドバイスをもらい現在、検討中。

＜今後の実施予定＞

○未収金対策の強化

- ・ 退院時精算の徹底や文書による督促、カード決済の導入など行っているが、今後は、督促マニュアルを策定のうえ、債権分類など、早期に効果的に回収できる取り組みを行う。

○業務支援サービス(ベンチマーク)の導入 (R5.9.1開始予定)

- ・ 重要指標の値を同種同規模の他医院と比較し、自院が抱える課題を客観的に把握し、経営戦略に活用。